



資料 3

一般廃棄物処理基本計画における 目標と令和4年度実績





長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分） の目標と令和4年度実績について

主指標

	ごみ総量 (集団回収・拠点回収を除く)	再生利用率	最終処分量
令和元年度 (基準年度)	22,382 t/年	約13%	3,537 t/年
令和3年度実績	21,039 t/年	約15%	3,078 t/年
令和4年度実績	20,337 t/年	約15%	2,998 t/年
令和3年度実績 との比較	▲702 t/年	大きな増減なし	▲80 t/年
令和4年度目標	22,126 t/年	約14%	3,464 t/年
令和4年度目標 との比較	▲1,789 t/年	+約1ポイント	▲466 t/年
令和18年度目標 (最終年度)	19,826 t/年	約22%	3,032 t/年

長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分） の目標と令和4年度実績について

減量化目標副指標

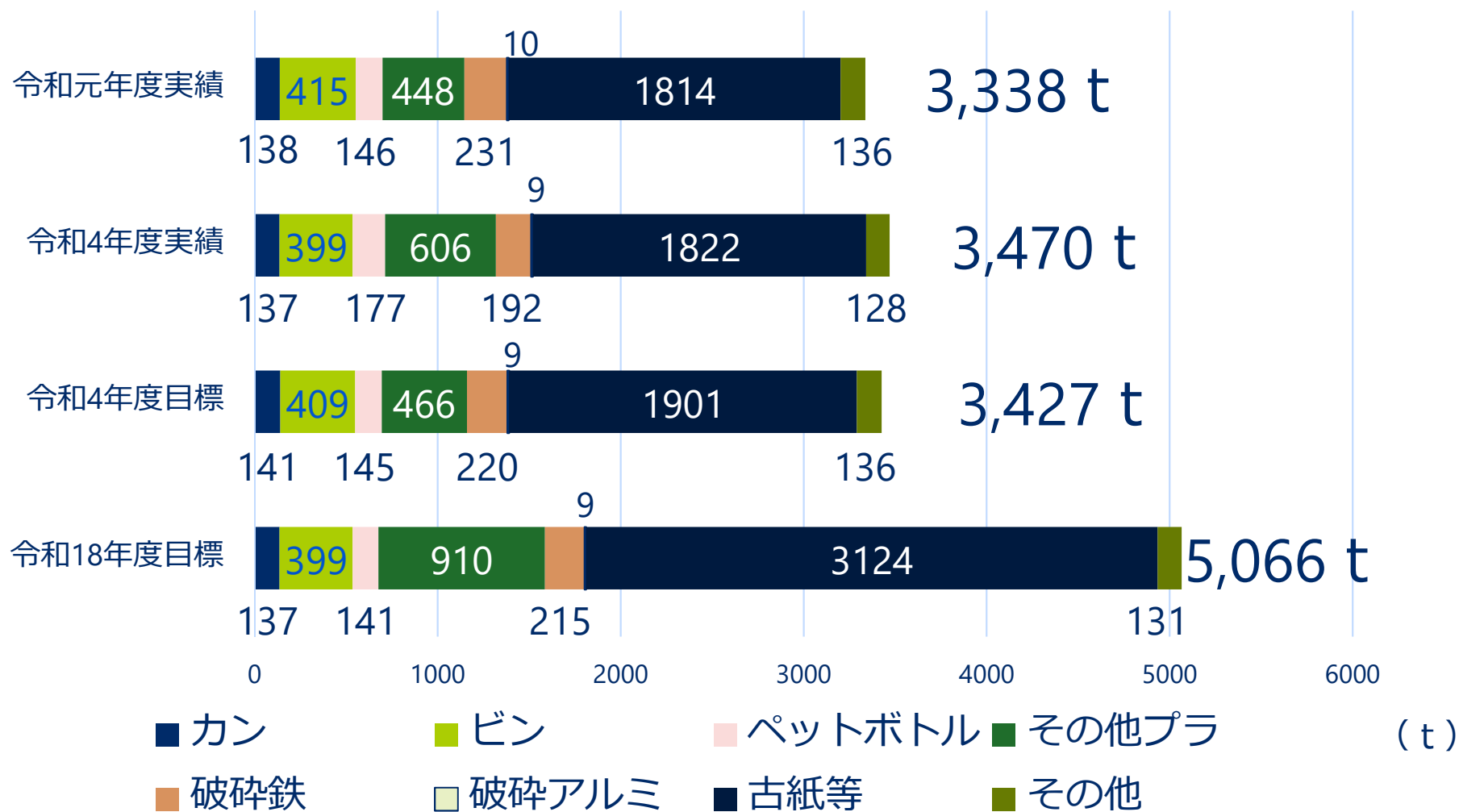
	一人一日当たり 収集ごみ量 (資源ごみを除く・家庭系)	一日当たり 搬入ごみ量 (市外からの搬入分を除く ・事業系)	一般廃棄物の焼却 に伴う温室効果ガ スの排出量
令和元年度 (基準年度)	456 g/人/日	16.7 t/日	8,663 tCO ₂ /年
令和3年度実績	404 g/人/日	16.3 t/日	8,030 tCO ₂ /年
令和4年度実績	394 g/人/日	16.2 t/日	7,777 tCO ₂ /年
令和3年度実績 との比較	▲10 g/人/日	▲0.1 t/日	▲253 tCO ₂ /年
令和4年度目標	452 g/人/日	16.5 t/日	8,552 tCO ₂ /年
令和4年度目標 との比較	▲58 g/人/日	▲0.3 t/日減	▲775 tCO ₂ /年
令和18年度目標 (最終年度)	394 g/人/日	14.4 t/日	7,417 tCO ₂ /年

長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分） の目標と令和4年度実績について

再資源化目標副指標

	一人一日当たり 再生利用量	再生利用量
令和元年度 (基準年度)	1 1 2 g/人/日	3, 3 3 8 t/年
令和3年度実績	1 1 7 g/人/日	3, 4 7 2 t/年
令和4年度実績	1 1 6 g/人/日	3, 4 7 0 t/年
令和3年度実績 との比較	▲ 1 g/人/日	▲ 2 t/年
令和4年度目標	1 1 6 g/人/日	3, 4 2 7 t/年
令和4年度目標 との比較	-	+ 4 3 t/年
令和18年度目標 (最終年度)	1 7 7 g/人/日	5, 0 6 6 t/年

長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分） の目標と令和4年度実績について（再生利用量）



長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分） の目標と令和4年度実績について（再生利用量）

再生利用量その1

	カン	ビン	ペットボトル	その他プラ
令和元年度 (基準年度)	138 t/年	415 t/年	146 t/年	448 t/年
令和4年度実績	137 t/年	399 t/年	177 t/年	606 t/年
令和4年度目標	141 t/年	409 t/年	145 t/年	466 t/年
令和4年度目標 との比較	▲4 t/年	▲10 t/年	+32 t/年	+140 t/年
令和18年度 目標 (最終年度)	137 t/年	399 t/年	141 t/年	910 t/年
令和18年度 目標との比較	-	-	+36 t/年	▲304 t/年

長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分）

の目標と令和4年度実績について（再生利用量）

再生利用量その2

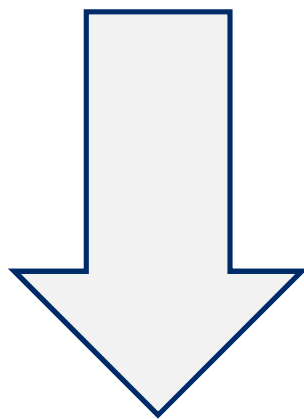
	破砕鉄	破砕アルミ	古紙等	計 (その他を含む)
令和元年度 (基準年度)	231 t/年	10 t/年	1,814 t/年	3,338 t/年
令和4年度実績	192 t/年	9 t/年	1,822 t/年	3,470 t/年
令和4年度目標	220 t/年	9 t/年	1,901 t/年	3,427 t/年
令和4年度目標 との比較	▲28 t/年	－	▲79 t/年	+43 t/年
令和18年度 目標 (最終年度)	215 t/年	9 t/年	3,124 t/年	5,066 t/年
令和18年度 目標との比較	▲23 t/年	－	▲1,302 t/年	▲1,596 t/年

長岡京市一般廃棄物処理基本計画（R4策定分）

の目標と令和4年度実績について（再生利用量）

令和4年度実績は、令和4年度目標値を若干上回っている。

令和18年度の目標値と比べると



カン・ビン・ペットボトル・破砕鉄・破砕アルミは概ね目標を達成

古紙等は約70%増、その他プラは約50%増が必要

引き続き、適正な資源物排出の周知と古紙等の回収機会の確保が必要。